

学校名	熊谷市立富士見中学校
所在地	熊谷市中央3-103
電話	048-521-0314

1 本校の概要

本校は、学級数 25、生徒数 819 名の大規模校である。毎朝の 10 分間の朝の読書は、『WITH 読書』を合言葉に、生徒と教職員全員で行っている。ページをめくる音だけが聞こえる静寂の中で、生徒たちはそれぞれの本の世界を読み味わう時間を過ごしている。本好きの生徒も多く、休み時間に読書をする姿を見ることができる。図書室の蔵書も現在 17,000 冊を超えている。学校図書館補助員の協力により、蔵書のデータベース化を進め、より活用しやすい図書室環境作りを目指している。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

- ・ 学力向上に結び付けた取組

(2) 実践の概要

本校の本年度の研究課題は、「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることができる生徒の育成 一言語活動の充実をとおして」である。言語活動の充実のために必要となる「集中力・読解力の向上」や「語彙が増え、言語能力の伸長」を読書活動で養うことができると考える。さらに「豊かな心と人間関係が生まれ」、「自信と誇りを持てる」よう、全校一丸となって読書活動を推進している。

ア 校長先生・教頭先生と朝読書タイム
(年 3 回実施)

朝の読書時間はとても落ち着いている。校舎内が静まり、ページをめくる音が響いている。今年度は、「校長先生・教頭先生との朝の読書タイム」の実施を提案した。



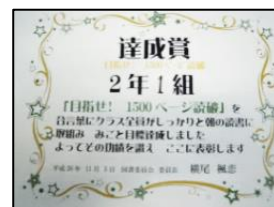
大規模校の本校は教頭先生が 2 名いるため、年間を通じて、校長先生・教頭先生が各クラスに継続的に入り、一緒に朝読書に取り組んでいただいている。

イ めざせ!! 1,500 ページ読破

(10 月の読書週間での取組)

図書委員会では、毎月活動目標と具体的な活動内容を決めている。4 月から朝読書の定着のために、図書委員は教卓のところで読書し、模範を示している。

「めざせ!! 1,500 ページ読破」は、10 月初めの図書委員会で決まった取組である。活動目標は「朝読書のさらなる定着をめざす」と決まり、クラス全員で 1,500 ページ読破の取組を行い、全クラスが達成した。



3 成果と今後の課題

(1) 成果

朝の読書活動の定着により落ち着いた雰囲気の中で 1 時間目の授業が始まることで、集中して授業に取り組んでいる。また、各教科等の「調べ学習」で本の情報を活用するなど効果的な言語活動が行われている。さらに、朝読書タイムの取組をきっかけに、校長先生や教頭先生を今まで以上に身近に感じる生徒が増え、挨拶などのふれあいが多くなった。「1,500 ページ読破」の取組後、積極的に朝読書をしたり、生徒同士で本を紹介し合ったりする様子もあった。

(2) 課題

「1,500 ページ読破」の集計結果を見ると、目標を増やし、3,000 ページ読破を目標としてもよかったのではと思う。最も多いクラスは 6,000 ページを超えていた。生徒の発想によるこの取組から大きな成果があり、継続したい。今後は、保護者と連携し、家庭でも読書をすすめる取組を行い、読書に親しむ態度を定着させるとともに、更なる学力向上を図りたい。